

# エアプランツ

## - Air Plants / Tillandsia -

● クリプタンサス・ネオレグリア類 etc....

### 空気中からも水や養分を吸収可！

エアプランツは、中南米に広く分布するパイナップル科の一属でアナナスの仲間です。また、非常に形態の変異に富んだ植物群で500種以上、変異を加え600種以上が報告されています。その多くは、木の枝や岩に付着して育つ着生植物で生育に土を必要としません。その上、空気中の水分(湿気)や養分を主に葉から吸収し、乾燥に対する抵抗力が極めて強く、空気だけで育つ意味合いで『エアプランツ/空中植物』と呼ばれるようにもなりました。しかしながら植物ですから、湿度不足で乾燥する環境下では霧吹きで水やりを！ヒトがやや汗ばむような温度と湿度があれば普通に根を出しますから着生を楽しむこともできます。



### ◆ 基本的な管理方法 ◆

(注意) 品種/季節/栽培環境等によって多少管理が異なりますので一例として参考までに  
 -【水やりの方法】- エアプランツは...夜行性!?

エアプランツの気孔は昼に閉じ夜に開きますから、夕方～夜間に霧吹きを使い水を与えると効果的です。霧吹き(ミスティング)は、株が乾いていれば一日に何回与えても構いません。エアコン等で空気の乾燥が続く環境下では、霧吹きをしてもやせて株元や葉にシワが出る場合があります。そのときは、株全体を12時間位(夕方～翌朝まで)ソーキング(水に浸す)すると元氣を取り戻しシャキッ!となります。一度で回復しない場合は、2～3日繰返しましょう。

真夏は、葉の中央への水貯めを控え、やや乾燥気味に管理して蒸れないようご注意！あとベラボン・テマイラ・アクアセラミック・水ゴケを利用し周囲の湿度を高める工夫も大切な環境作りです。またスケルトンウッドやコルク、ヘゴ等に着生させると生育が良くなり管理もラクになる傾向にあります。

冬期は、少しでも暖かい時間帯か暖房時の短時間で乾く環境下で控えめの霧吹きを！

### -【置き場所】-

一般的な観葉植物が好む場所で、レースのカーテン越しに日光浴できる窓辺へ置くのが良いでしょう。おおまかに緑っぱい品種は半日陰、白っぱい品種は日光好き！キッチン・バスルーム・洗面所も適度な明るさと通気があれば育ちます。くれぐれも暗い所へ置きっぱなしにされることなく、時折り条件の良い窓辺等で日光浴をさせるなど“置き場所のローテーション”もご検討下さい。

また、高山植物ゆえ...寒さにも強く表面が乾いていれば氷点下7℃程度にも耐えらるとされていますが、傷めないためには10℃をキープ！生育には15℃以上が理想的です。あと、強光で葉焼けを起こす品種もありますから真夏は半日陰で通気の良いところで管理の方が無難です。冬は積極的に窓辺で日光浴を心がけましょう！

### -【原産地に学ぶ最適な環境とは?】-

何もせず良く育つのは『原産地の自然環境下で...夜間に霧が発生し湿度60%の半日陰で風の流れがある』という条件です。基本的に湿気の多い所を好みますけれども、湿る⇒乾く⇒湿る⇒乾く...でメリハリをつけて乾湿を繰返す工夫が大切！

### \* クリプタンサス・ネオレグリア/ファイヤーボール系の管理 \*

空気が乾燥し湿度を保てず葉が内側にカールする環境下では、水ゴケ・パーク・水はけの良い用土に植えても良く育ちます。いずれも冬は乾かし気味に管理！

- クリプタンサス... 高温期に綺麗な葉色で楽しませてくれますが、日光不足や温度不足になると葉色が褪せやすくなりますので、明るく暖かい所で管理下さい。
- ネオレグリア/ファイヤーボール系/緑葉系... 基本的には、株の真ん中(葉筒)に水をたっぷり貯めておくだけで育ちますが、常時水を貯めておく場合は時折新鮮な水に取り替えてると気持ちよく育ってくれます。冬は少なめでやや乾燥気味に！

## エアプランツを上手に育てるコツ&ヒント

置いたり...浮かしたり...吊ったり出来て、土も不要だからとても清潔な植物です！



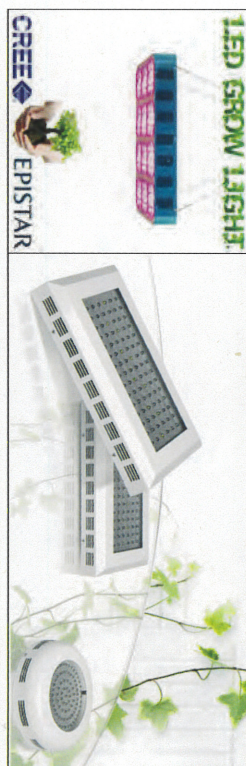
乾燥には強いけど...やっばり植物！水分・湿度不足で放置するとやせてきます...霧吹きで水分補給を！株が乾いていたらいつでもOK！



テマリやアクアセラミック等で湿度を高める工夫を！ほとんどの品種で花が咲く！



室内のエアプランツや観葉植物が日光不足でヒョロヒョロ徒長していませんか？健全な生育には日光浴が不可欠！植物育成/ハイパワーLED照明で日光不足解消！



うっかり株にシワがよって痩せてきたら、夕方～翌朝にかけて12時間程度のソーキング(水浴)を！ひと晩でふっくら回復しない場合は、2～3日繰返してみよう。  
 ※サンオリエントシカ等を利用した水でミネラルの補給も効果的です。

